

住民投票

提言書＋6/26意見

住民投票

市民にとって大きな争点となった個別課題については、市民が意思を示すことができる仕組みづくりが必要であり、住民投票制度がこれに当たります。

解説

- ・常設型住民投票条例のことについて触れては。

条文（案）

（住民投票）

第18条 市長は、市政に関する重要な事項について、住民の意思を確認するため、別に条例で定めるところにより、住民投票の制度を設けることができる。

（住民投票の尊重）

第19条 市は、住民投票の結果を尊重するものとする。

【解説】

第18条、19条は、住民投票について規定したものです。

市政に関する重要な事項について、市民の意思を示したいと多くの市民が考えるときに起動する、いわば非常ベルの役割を果たすのが住民投票制度です。住民投票は、法的な拘束力を持たないことから、その結果について市長の選択や決断を拘束するものではありませんが、住民投票によって示される市民の意志を「尊重する」ことを、第19条で規定しています。現在の地方自治法のもとでも住民投票は行うことができますが、全国的には一定数の署名が集まることで、住民投票が行われる「常設型住民投票条例」の制定もみられます。代表制民主政治を支える「住民の意志を示すしくみ」として今後の検討に期待するものです。